



Q・F35 整備拠点に対する見解は

A・具体的な動きは見えない

Q

F35 ステルス戦闘機の整備拠点が、三菱重工小牧南工場に2018年初期までに整備される。

日本の次期主力戦闘機として、42機の整備・採算が予定されているだけでなく、在日米軍や韓国が導入するF35についても、整備される可能性が高いと思われる。これまでもとは明らかに性質の異なるものであり、見過ごせない。

また、F35が整備のために飛来し、空港での離発着が増える。内外での事故のリスクの増加や騒音などが懸念される。

F35の整備拠点について、当局の見解は。

A 産業建設部長

最先端の戦闘機技術やノウハウに接することができ、高いレベルの技術集積につながることを期待される。現段階では、具体的な動

きが見えていないので、当町への影響については申し上げられない。

Q

今後、豊山町に影響を与えるので、説明を求めていく必

要があるのではないかと。要があるのではないかと。

A 産業建設部長

国の技術について、それぞれの地域が個別の役割を担うことは、有意義と考える。

F35がどのような枠

組みで製造されるか、整備拠点が安全保障上どのような役割を担うか、具体化されていない現段階では、説明を求める考えはない。

Q・障害者の理解促進・啓発を

A・懸垂幕を掲げるなどで

周知していく

Q

障害者週間に、どのような取り組みが行われているか。

Q

障害者権利条約について、学び、考える機会を設けてはどうか。

A 生活福祉部長

現在のところ、考えていない。

A 生活福祉部長

庁舎に懸垂幕を掲げ、ロビーに障害者週間啓発用ポスターを掲示して、障害及び障害者に対する関心・理解を深め、周知している。

今後、取り組みを継続していく。



もっと理解を深めよう